

代表挨拶

辻知香（山口大学農学部獣医学科6年）

こんにちは！第7期学生会代表を勤めております、辻です。

学生会員が、日々、様々な場面で、野生動物医学会の諸先生方、先輩方にはお世話になっております。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

第7期に変わってから、はや半年が過ぎました。今年のテーマ、「学生会という土壌を豊かに、そして自分達の芽を育てていこう！」を盛り立たせるかのように、各支部では、観察会、講演会などなど独自のカラーを出して、活動が行われています。

私達が学生会で活動することの意味とは何でしょうか!? まず一つに、この野生動物医学会を通して、野生動物問題の現状、それに対処する様々な活動を“知る”こと。次に自分

の関心がある分野、やりたい分野を“学ぶ”こと。先生、先輩、同士と多くの人と交流して“繋がりを作る”ことだと、私は思います。そのなかで、少しずつ、自分なりの野生動物に対する考え方、関わり方が見えてくるのではないのでしょうか。学生の皆さんが、この学生会という土壌で、自分だけの芽がすくすく伸ばしていけることを願っています。

現在、学生会では、今年の第14回野生動物医学会大会・神戸大会へ向けて、私達の代ならではの学生集会、学生懇親会を企画し、準備を進めております。詳細については、メーリングリストを通じてご連絡する予定です。多くの方のご参加をお待ちしております。

日本野生動物医学会 学生会 支部長名簿 平成19年4月28日現在

学生会代表	：	辻 知香	（山口大学農学部獣医学科6年）
北海道大学	：	別府 雅彦	（北海道大学獣医学部獣医学科6年）
酪農学園大学	：	貞國 利夫	（酪農学園大学環境システム学部地域環境学科4年）
帯広畜産大学	：	石川 恭平	（帯広畜産大学獣医学科3年）
北里大学	：	境 瑞紀	（北里大学獣医畜産学部獣医学科4年）
		長船 裕紀	（北里大学獣医畜産学部環境生産学科4年）
岩手大学	：	犬飼 祥子	（岩手大学農学部獣医学科4年）
日本獣医生命科学大学	：	若澤 英明	（日本獣医生命科学大学獣医学部獣医保健看護学科3年）
東京農工大学	：	岡崎 祥子	（東京農工大学農学部獣医学科3年）
麻布大学	：	豊田 英人	（麻布大学獣医学部獣医学科6年）
日本大学	：	鈴木 裕	（日本大学生物資源科学部獣医学科3年）
帝京科学大学	：	新井 景	（帝京科学大学アニマルサイエンス学科3年）
岐阜大学	：	石橋 知可子	（岐阜大学応用生命科学部獣医学課程4年）
		横山 須美江	（岐阜大学応用生命科学部獣医学課程4年）
大阪府立大学	：	堀 麻由香	（大阪府立大学農学部獣医学科4年）
鳥取大学	：	伊従 留南	（鳥取大学農学部獣医学科4年）
山口大学	：	大矢 妙子	（山口大学農学部獣医学科6年）
宮崎大学	：	篠原 萌	（宮崎大学農学部獣医学科4年）
鹿児島大学	：	羽賀 淳	（鹿児島大学農学部獣医学科4年）

以上16支部

※なお、各支部長の紹介と挨拶については、学生会のHP（<http://www.gakuseibukai.org/>）をご覧ください。

一特集一 支部の活動紹介

前回の12月号に引き続き、今回も支部の活動の紹介をした

と思います。今回は宮崎大学支部と、関東地区の大学の支部の集まりである関東集会について取り上げました。（他の支部の活動報告については学生会HPをご覧ください。）

宮崎大学支部 -Wila-

文責：篠原萌（農学部獣医学科4年）

こんにちは！宮崎大の Wila（ワイラ）です。Wila は 5 年前、宮崎にも学生支部を作ろう！と先輩たちが立ち上げてくれました。今では部員も増え、宮崎の野生動物を知ることができる良い場所になっています。

宮崎の南国気風に押されのんびりとした支部ですが、野生動物を愛す心は 120% です（笑）それでは、以下に去年の主な活動をまとめました。

〈H19年度の活動記〉

4月：ミサキウマの観察

春はミサキウマの出産&繁殖シーズンです。かわいい仔馬に加えて、群れの雄リーダーの特徴的な行動を見ることができます。雄リーダーは自分のなわばり内の雌を守るため遠くにはぐれそうな雌を連れ戻したり、近くに寄ってきた雄を追い払ったりと大忙しです。時には前足を振り上げ、迫力のあがる闘争もみせてくれます。



写真 ミサキウマ

5月～8月：アカウミガメの産卵&孵化調査

5月の終わりから宮崎野生動物研究会の方と一緒にアカウミガメの産卵調査を行っています。毎週2回夜に砂浜を歩き、足跡、産卵場所を記録します。また卵が波をかぶりそうならば、安全な場所に移したりもします。アカウミガメは甲長70～100センチ、体重100キロもある大きな動物です。運が良ければウミガメにバツパリと出くわし、産卵をみることもできるかも…。

11月：学祭発表

昨年度の学祭発表は、宮崎の野生動物とツシマヤマネコでした。ミサキウマ、幸島のサル、アカウミガメ、ツシマヤマネコについて、それぞれが調べたことや写真、標本を展示しました。身近にいる野生動物の知らない一面を展示できたのではないかと思います。またイリオモテヤマネコに比べ、マ

イナーなツシマヤマネコ。宮崎からは遠いですが、現在対馬には100頭ほどしかいない尻尾の大きな愛らしい野生動物について紹介しました。



写真 ミサキウマの骨格（中央）

12月：鹿児島大学との合同勉強会

対馬動物医療センターの山本先生、鹿児島市職員の玉井先生をお呼びして、宮崎大学にて鹿児島大学と合同で勉強会を開きました。

～プログラム～

- ・山本先生 ツシマヤマネコの現状や保護対策について。
- ・玉井先生 動物園のお話や学生に対するメッセージなど。
- ・宮崎大4年 牟田佳奈子（Wila）

夏に博物館のお手伝いで参加した、クジラの骨格標本作りのまとめ。

- ・鹿児島大4年 羽賀 淳（野生道）

「鳥見のすすめ」。鳥見についていろいろなお話。

この後、先生も一緒にお酒を飲みました。遠方からお呼びすることは初めてで不手際もありましたが、先生方本当にどうもありがとうございました。そして鹿児島大の知り合いがたくさん増えました！

以上が昨年の主な活動です。

野生動物を見に行こう！そして人に伝えよう！

この心が人々の生活に野生動物の存在を与え、何かする時少しでも野生動物のことを考えてくれたら…、と思います。そして私たちは動物を通して人と仲良くなる、動物をもっと好きになる、を実践していきたいと思います。

関東集会の報告

文責：若澤英明

(日本獣医生命科学大学獣医学部獣医保健看護学科3年)

昨年の10月初旬・・・12月開催の関東集会の企画が野樂團の前代表である名切さんより、僕に届けられました。そして、その3ヶ月前の7月末には農工大にて関東集会が開催されていました。その時は、僕はまだ一介の参加者。知り合いも殆んどいなく、関東の支部長さんの顔と名前を始めてそこで覚えた状態でした。その時は、まさか次の関東集会の運営の中心メンバーとして携わるとは全く思いも寄りませんでした。その後、今回は日獣大開催との事を聞き、名切さんと共に後期授業の開始後すぐに関東集会の計画が進み始めました。

そもそも関東集会とは、関東にいる野生動物に興味のある学生達がお互いに交流をする事が目的となり始まったもの。7月開催の農工大での関東集会では、大学ごとの活動についての自己紹介・交流が行われ、次回へつながる関東集会となりました。次にバトンを受け取った日獣大での関東集会は、どんな学年でも多くの学生が興味を持てるような内容にする事を目的としました。そのため、様々な野生動物において、興味のある事・伝えたい事・研究をしている事を学生や院生、社会人等の幅広い方々に講演をしていただくことにしました。またその際に、(たまご・ひよこ・こっこ)クラブという三つのクラブを作りました。たまごは学部低学年、ひよこは学部高学年、こっこは院生・社会人というクラブ分けとし、どのクラブの講演希望者も気兼ねなく講演しやすい環境を提供することにしました。ネームプレートも、名前と大学名以外の内容はあえて載せないようにし、少しでも学生の交流のきっかけになればという気持ちで作る事にしました。そして、今まで学生が学ぶ場というと、座学が多くなってしまったため、講演のある【午後の部】とは別に、参加型の【午前の部】を開設しました。主な内容は、鳥の羽や体についてとなりました。講演者としては、自然環境アカデミーの野村亮さん、日獣大の梶ヶ谷博准教授のお二人がご協力してくださいました。そして、そのご協力があったため、実際の鳥の羽や検体を前にしての参加型の勉強の場を開設することができました。

基本的な構想が決まった後、野生動物学生間ネットワークにて【午後の部】の講演者募集を行ないました。しかし、現実としては講演者が中々集まりませんでした。このままでは、学生は確実に来ないだろう。これは、こちらからどうにか講演をお願いをしなくて

はと思い、関東集会の企画について再度関東の支部長の方々に情報を流しました。また同時に、何人かの方にはこちらからもアプローチをし、より多くの方々にご協力をお願いすることにしました。多くの方々のご協力の結果、どうにか講演者が集める事ができ、学生の興味ある内容を持つ今回の関東集会を企画する事ができました。そのようにして、講演者が集まりました。次は学生を集めるべく、また野生動物学生間ネットワークにメールを流し、参加希望を受け付けました。前回開催した関東集会では、当日参加がOKでした。しかし、今回は前もって参加希望メールを送らなくてはならないために、人があまり集まらないのではないかと。年末はみんな何らかの用があって開催しても人が集まらないのではないかと。そのような運営をしてゆく上での制約によって、共にいくつもの悩みが頭をめぐりました。

しかし最終的には、講演者も含め40人程が集まりまわっていただきました。【午後の部】における講演者も、帝京科学大の津田さん、麻布大の豊田さん・小山さん・堂山さん、東京農工大を昨年度卒業された石山さん、東京大大学院の熊田さん、パピルサ東京支部の伊東さん、そして日獣大の森本くんの8人の方が講演をしてくださり、その結果、猛禽やハクビシン、イノシシ、パピルサ、カワウ、動物園の環境エンリッチメントについて等の多くの野生動物に関わることを学べる場となり、午前の部に引き続き、とてもいい内容の関東集会とすることができました。実際の当日には、運営していく上で戸惑うような事もありましたが、大きな問題もなく終わることができました。また、熱がこもった講演により大幅に時間がずれてしまったことは、大きな反省点とはなりましたが、学生にとっては逆によかったのではないかと思います。



写真 関東集会の様子

今回、多くの方々が参加・講演してくださり、関東集会が成り立ちました。忙しい中、午前・午後の部の講演者並びに参加者、懇親会にだけでも参加して下さった日獣大のOB・OGや院生の方々、運営スタッフ、そして今回の関東集会において一番大変な役を進

んで行なってくださった名切さん、関係したみなさまの協力のおかげで日獣大での関東集会が成功として終えることになりました。
みなさま、ご協力本当にありがとうございました。



次ページは、9月に神戸で開催される野生動物医学会大会の案内です。

学生部会

日本野生動物医学会神戸大会の案内

<学生集会の案内>

学生部会では野生動物医学会期間中の9月4日(18:00～20:00)に学生集会(自由集会)を行います。

今回のテーマは「野生動物と人との軋轢や保護活動(仮)」。野生動物と人との間に起こっている事象を見つめたいと思います。最近では野生動物に対して保護活動が成されてきている反面、獣害問題など人との軋轢問題が増加してきています。今、人と野生動物との間に何が起きているのでしょうか?学生集会参加者にはその目撃者となってもらいたいと思います。

内容については現在企画中のため変更等があると思いますが、今のところ次のようなことを企画しています。

まず、開催地にちなんで兵庫県でのコウノトリの保護活動やイノシシ・シカによる獣害問題などの例を取り上げます。次に兵庫県の事例と比較しながら、全国各地で行われている野生動物の保護活動、及び人との軋轢問題と対応策についても論議したいと思います。

今回は学生集会初の試みとして、演者による講演に加えてクイズ形式のグループワークを取り入れます。グループ内であれこれと相談しながら問題を解いていくことで、参加者同士が意見を交わしあって知識を深めたり、その過程を通して人と野生動物の関わりについて自分なりに考えてもらえたらと思います。

目指すは知識の繋がり&人との繋がりが見られる、そんな参加型の集会です!

<宿泊所について>

宿泊地の場所:財団法人 神戸学生・青年センター

(〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1)

利用可能期間:9月3日～7日

(チェックイン18時から22時半、チェックアウト9時)

宿泊費:未確定

(宿泊人数が決まり次第、センターから料金を提示されるので現段階では確定していません。おおよその目安として、一泊一人1,000～2,000円あたりの料金になると予想されます。)

収容人数:基本的に女子専用は和室・ベッドルーム(最高収容人数42人)、男子専用はホールとします。(ただし、和室・ベッドルームは女子希望者が定員に満たさない場合のみ男子も宿泊可。ホール宿泊は女子も希望可とします。)

—設備等について—

寝具:和室・ベッドルームの場合、シーツ・枕カバー・浴衣が付いています。ホールは寝袋を持参してください。

お風呂:入浴時間は18時から23時です。

大きな風呂と小さなお風呂の二室があります。

石けん、シャンプー、リンス、ドライヤー有り。

タオルも100円で販売されています。

トイレ:各部屋にはついていませんが、浴室横にある男女別のトイレを利用できます。

コインランドリー:150円で使用可

駐車場:3台まで(予約不可)

—注意事項—

- ・センターの2階以上がマンションになっています。特に夜間は住民の迷惑にならないよう注意して下さい。
- ・センターの施設・備品を破損、損失した場合は責任を負わなければいけません。
- ・館内での物品の販売、ポスター、ビラなどの配布・掲示をする場合はセンターの許可が必要となります。

<宿泊地から大会会場までの交通手段について>

神戸大会会場まで徒歩10分

王子動物園会場まで阪急電車で5分

(最寄駅(阪急神戸線六甲駅)まで徒歩3分)

*宿泊所や交通手段に関する質問は各大学の支部長を通じてご連絡ください。また情報が追加されましたら、メーリングリストにてお知らせする予定です。



神戸学生青年センター周辺図